

# 世界ジオパークのまち 糸魚川 30年先も持続可能なまちを目指して

### ユネスコ世界ジオパークのまち

糸魚川市は日本海に面し、海拔0mの平地から3000m級の山々が連なる北アルプスまで、起伏に富んだ地形が特徴です。さらに、眼前に迫る岩山や清流姫川、



平成27年3月にリニューアルオープンした「フォッサマグナミュージアム」

そしておいしい海山の産物など、美しい景観と自然の恵み豊かなまちでもあります。また、市の真ん中には日本列島を東西に分かつ大断層「糸魚川―静岡構造線」が通っており、ここを境に地質がまったく異なります。具体的には西はヒスイに代表される5億年前の地質、東はフォッサマグナに堆積した数百万年前のもので、その差は約5億年もあります。

このように多様な大地に根差した自然と文化、その営みを観光資源として活用するため、市町合併前の旧糸魚川市では昭和62年に「フォッサマグナと地域開発構想」を策定し、この構想が今日に至る活動の原点となっています。その後、世界に先駆けて平成3年から地質見学地を「ジオパーク」と呼び、解説板などの整備を行うととも

に、平成6年には拠点となる博物館「フォッサマグナミュージアム」を開館し、さまざまな教育普及活動を行ってきました。また、旧青海町でも地質資源を生かした活動が盛んであり、平成8年には地域内の地質、文化などの特徴を紹介する「青海自然史博物館」(平成27年3月にフォッサマグナミュージアムへ統合)が開設されました。

さらに、本市では豊富な地質資源を地域振興に活用して、市町合併を経た新市の一体感の醸成のため、ヨーロッパで始まった新しい取り組みであるジオパーク活動に参加することを平成19年に宣言し、平成21年には日本初の世界ジオパークに認定されました。ジオパークには4年ごとに再審査があり、平成25年には世界ジオパークに再認定となりました。

現在、日本ジオパークは国内に39地域あり、そのうち8地域が世界ジオパークに認定されており、目指す地域も増えていることから、地域資源を生かしたまちづくり活動に高い関心が向けられています。

### 世界ジオパーク認定後の取り組み

世界ジオパーク認定後、まだ聞き慣れないジオパークを知ってもらうため、市民を対象とした出前講座や小中学生に向けた現地学習会を実施しました。ほかにもご当地検定のジオパーク版である「糸魚川ジオパーク検定」は平成22年度の第1回から数えて本年度で7回目となり、受験者数は1800人を超え、普及に一役買っています。また、ジオパークに不可欠なガイドの養成講座も行い、認定ガイドの制度も制定しました。

市外から訪れる方にジオパークの内容を語れるようにと始めたの



糸魚川駅前に、平成22年まで活躍した人気車両「キハ52-156」を展示（「キハ52待合室」）

子どもたちの育成を目的としています。そのほかにも、郷土出身の著名人に依頼し、機会をとらえてPRしていただくジオパーク大使制度や24のジオサイトにちなんだジオパーク井

が、「ジオパークマスター」です。これは、市内の事業所に勤める方を対象に、講習を受けた後で認定するもので、認定者にはのほり旗、ステッカー、認定証を交付します。これらの表示を掲げられた店舗が増えるに従い、市民への周知はもとより、訪れた人に本市が「世界ジオパークのまち」であることを印象付けています。

ジオパークを教育に活用する取り組みも始めました。0歳から18歳までの「子ども一貫教育方針」の中にジオパークとかわる項目も盛り込みました。これは、さまざまな学習に関連して自分たちの住むふるさとを学ぶことにより、郷土愛の醸成を図り、大人になってもふるさとに愛着と誇りを持つ子どもたちの育成を目的としています。

## ジオパーク効果と北陸新幹線

（どんぶり）など、さまざまな形でジオパークを活用しています。

平成27年3月に、待望の北陸新幹線が開業し、本市と首都圏とが約2時間で結ばれました。この開業を交流人口の拡大につなげるべく、近隣市町村と新幹線駅の利用促進を目的とした広域観光連携による誘客宣伝活動も行ってきました。新幹線の効果は、首都圏方面だけではなく、関西方面の誘客にもつながっております。

新幹線駅を整備するに当たり、ジオパークと鉄道を組み合わせた交流施設となるよう駅1階には「ジオステーションジオパル」を整備しました。施設は大きく3つに分かれており、1つがジオパークのガイドランスと観光案内所を備えた「観光インフォメーションセンター」。2つ目が実際にJR大糸線を走行していた実車を展示した「キハ52待合室」。3つ目が大型の鉄道模型ジオラマを体験できる「鉄道模型ステーション」です。ほかに類を見ないこの施設は、新幹線の開業1カ月前のオープン時か

らにぎわいを見せ、開業から半年で早くも来場者は30万人を突破しました。

また、フォッサマグナミュージアムも新幹線開業に併せてリニューアルし、糸魚川ジオパークの特徴であるヒスイとフォッサマグナにより重点を置いた展示内容となりました。新幹線の開業効果もあり、本年度の来場者数は以

## プロフィール

- ◆ 面積 746.24km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万5079人
- ◆ 世帯数 1万7525世帯

〔将来都市像〕翠（みどり）の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち

〔まちの特徴〕多様な地域資源や固有の文化を有する、東西文化が出会う世界ジオパークのまち

〔市町村合併〕平成17年3月19日に糸魚川市、能生町、青海町が対等合併

〔特産品〕コシヒカリ、越の丸茄子、甘エビ、ベニズワイガニ、日本酒、糸



糸魚川市長 米田 徹



魚川ブラック焼きそば、糸魚川ジオパーク井、鮭魚醬「最後の一滴」

〔観光〕小滝川ヒスイ峡、ヒスイ海岸、親不知子不知、フォッサマグナミュージアム、糸魚川ジオステーション「ジオパル」、道の駅マリンドリーム能生

〔イベント〕糸魚川けんか祭り、能生白山神社春季大祭、青海の竹のからかい、糸魚川おまんた祭り、日本海クラシックカーレビュー、糸魚川荒波あんこう祭り

前より大幅に増加しています。本市をはじめ、世界ジオパークに認定された各地域の活発な取り組みが認められて、平成27年11月にジオパークがユネスコの正式事業となりました。新幹線開業と併せ、これからもジオパーク活動を通じて、さまざまな地域資源を活用し、今後もさらなる交流人口の拡大に努めてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 大好きなこのまちを より素敵で魅力的なまちに

どこよりも素敵で  
魅力的なまちに  
すみだの夢を実現構想

私は、「すみだの夢」実現構想  
の中で、次の7つのプログラムを  
掲げています。

- 安全安心が基本、住んでいて良  
かったと思えるまちの実現
- 子育て環境を徹底整備して、働  
く世代が幸せに集うまちの実現
- 将来を担う子どもたちが、夢や  
希望をしっかりと持てるまちの  
実現
- 女性や若者が活躍しやすい環境  
と新たなビジネスや交流が生ま  
れるまちの実現
- 歴史や伝統文化を誇りに思い、  
多くの人々が訪れる憧れのまち  
の実現
- 高齢者がいきいきと健康に暮ら

し、地域の活動を支えていただ  
けるまちの実現

- 効率的で持続可能な、地域間競  
争を勝ち抜く、行政が輝くまち  
の実現

大きな可能性を持った墨田区  
を、区民の皆さまの声をしっかりと  
と聴いて、さらに発展させていく  
こと、このまちの可能性を民間感  
覚、区民目線により大きく引き出  
して、本区をどこよりも素敵で魅  
力的なまちにしていくなために邁進  
していきます。

### 「26万人都市の経営」 新たな基本計画を策定

本区の人口は平成27年5月、平成  
27年度末を目標としていた人口  
26万人を約10カ月早く達成しまし  
た。このことは、暮らしやすいまちと  
して一定の評価をいただき、特に20

代を中心とする若い世代に本区が  
選ばれていることがわかりました。  
今後は、26万人都市にふさわし  
い経営が求められます。

本区では現在、「すみだの夢」  
実現構想」達成に向けた、平成28  
年を初年度とする10年後の区の将  
来像を描く「墨田区基本計画」の  
策定作業を進めています。また、  
併せて「墨田区総合戦略」の策定  
も進めています。

基本計画の中では、「暮らしたい  
働きやすい 訪れたいまち」の  
実現を掲げ、福祉・防災・環境・子  
育て・教育など、各種施策をバラ  
ンスよく盛り込みます。

また、区長に就任以来、さまざま  
な会合やイベントに足を運んだ中  
で、人と人との絆(きずな) 町会・自治会や  
各種団体の結束力の強さ・素晴らし  
さに数多く出会いました。このこ

### 「国際文化観光都市すみだ」 の実現をめざして

とは、本区の誇りであり、強みであ  
ると思っています。私は、下町人情  
豊かな、すみだならではのひとづく  
り、まちづくりを進め、「地域力日  
本一のまち」を目指していきます。

東京スカイツリーを起爆剤とし  
たさまざまな観光振興施策にハー  
ド・ソフトの両面から取り組んでき  
た結果、現在では国内外から多く  
の観光客が本区を訪れています。

2020年オリンピック・パラ  
リンピック東京大会の開催が決定  
し、今後ますます本区を訪れる外  
国人観光客の増加が見込まれ、受  
け入れ体制を整備する必要がある  
ことなどから、平成27年に墨田区  
観光振興プランを改定しました。

このプランでは、本区の数ある  
観光資源の中でも「北斎・江戸文  
化」「産業と観光の融合」「水都す  
みだ」を重点的・戦略的に展開する  
こととしています。特に「北斎と江  
戸文化」については、すみだ北斎美

術館、江戸東京博物館、郵政博物館、たばこと塩の博物館、区内に点在する小さな博物館などと連携し、両国から東京スカイツリーまでの間を文化施設が集積する「すみだ文化ゾーン」として広く発信していきたいと考えています。

## 「すいよいよ開館」 「すみだ北斎美術館」

葛飾北斎は「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」で、日本人として唯一ランクインした絵師です。

北斎は、90年の生涯のほとんどを区内で過ごしながら、多くの作品を残しました。

本年11月、葛飾北斎の生誕地である墨田区亀沢の地に「すみだ北斎美術館」が開館します。「すみだ北斎美術館」の開館に向けて、全国の北斎ファンや文化芸術に理解の深い企業・団体など多くの皆さまにご参画いただき、共に事業を進めてまいりたいと考え、寄付キャンペーンを実施しています。これまでに全国各地の多くの皆さまから暖かいご支援をいただいています。今後もさらなるご支援を願っています。

## 「女性や若者など多様な人材の活躍推進を目指して」 イクボス宣言

平成27年、東京23区の区長では初となる「イクボス宣言」を行いました。

これは、職場で共に働く部下のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむ「イクボス」になることを宣言したものです。具体的には、子育てや介護と仕事の両立への支援、育児休業や介護休暇などの取得促進、そして会議の短縮や業務の改善を進めていきます。さらに、「自治体首長の子育て応援宣言」を併せて行い、女性の社会参画を拡大し、女性が輝くまちづくりを進めるとともに、若い世代が安全かつ安心して子育てができる環境の向上を図ります。

## 大学誘致

現在、学校跡地（おおむね1万8000㎡）の有効活用策として、大学の誘致を進めています。当地は、東京スカイツリーからもほど近く、交通アクセスも良い

地域に立地しており、通学もしやすい場所であるといえます。地域のさらなる活性化や子どもたちの教育向上をはじめ、多くの効果が期待できる大学誘致の早期実現に向けて取り組んでいきます。

## 結びに

本区は、羽田空港・成田空港からのアクセスも良く、区内循環バ

## プロフィール

- ◆ 面積 13・77km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 26万1723人
- ◆ 世帯数 14万1769世帯

〔将来都市像〕「暮らしたい 働きたい 訪れたいまち すみだ」地域力日本二

〔まちの特徴〕町並みにも人々の気風にも、江戸文化や下町情緒豊かな心が息つき、ものづくりのまちとして発展してきたまち。今後も墨田区に住み続けたいという方は8割近くを占める、住みやすいまちでもある

〔特産品〕墨田区では、区内産品や食



墨田区長  
山本 亨



を「すみだ地域ブランド」として認定。認定されたブランド数は135点（26年度末現在）で、区ホームページにも掲載

〔観光〕東京スカイツリー、すみだ北斎美術館（本年11月開館予定）、小さな博物館（27館）、大相撲（両国国技館）

〔イベント〕隅田川花火大会（7月）、墨堤さくらまつり、すみだまつり、国技館5000人の第九コンサート

スも3路線で運行しています。四季折々のイベントや名所旧跡、各種の博物館、区内産品や食の銘品名店など、お楽しみいただける観光コンテンツが数多くあります。区内各所を散策していただき、すみだの魅力を満喫してみてください。

おもてなしの心をもってお待ちしています。ぜひお立ち寄りください。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 農・工・商が高度に調和する 西脇市を目指して

「日本のへそ」が  
まちづくりの原点

西脇市は周囲を緑の山々に囲まれ、県下最大の河川・加古川が市の中央を流れています。まちの基幹産業である先染織物「播州織」をはじめ、全国の総生産量の大半を生産する「播州釣針」、伝統的工芸品の「播州毛鉤」、神戸ビーフの

素牛となる「黒田庄和牛」などがあります。

播磨地域の北部に位置する本市は、東経135度・北緯35度の交差点が位置していることから「日本のへそ」として全国にPRするなど、ユニークなまちづくりを展開しています。

日本のへその起源は、東京高等師範付属学校の肥後盛熊氏が大正



園内に「にしわき経緯度地球科学館(テラドーム)」などもある「日本へそ公園」

8年に「ここには、ちょうど日本

の中心に当たる東経135度・北緯35度の交差点がある」と指摘したことに始まります。昭和52年には「日本のへそ」を全国に宣言し、

それ以降、シンボルマークの制定や「北海道のへそ」「富良野市との友好都市親善協定の締結」、日本のへそ「西脇子午線マラソン大会」の開催、日本へそ公園整備と日本へそ公園駅の開業、にしわき経緯度地球科学館の整備などを進めてきました。

平成9年には、本市が中心となつて全国の「へそ」中心「まんなか」を名乗る自治体と「全国へそのまち協議会」を結成。構成市町村が北は北海道富良野市から南は沖縄県宜野座村まで全国に点在している利点を生かして、観光物産展などの交流事業の実施や、災

害時の物資提供・職員派遣などを定めた相互応援協定の締結など、日本のへそを単なる位置的なアピールではなく、まちづくりの原点として大切にしてきました。

「西脇ブランド」の  
再構築を目指して

約220年の歴史を持つ播州織は、国内先染綿織物の70%以上のシェアを占めており、本市発展の礎となりました。その一番の特徴は、先に糸を染め、染め上がった糸で柄を織る「先染織物」という手法にあります。自然な風合い、豊かな色彩、優しい肌触りの生地は、シャツやハンカチ、テーブルクロスなどさまざまな製品に加工されています。国登録有形文化財・旧来住家住宅に隣接する「西脇情報未来館21」では、播州織の生地を常時1000種類以上ストックしており、自分好みのシャツをいつでも気軽にオーダーできます。

黒田庄和牛も本市が誇る特産品

の一つです。平成25年3月には、播州織、播州毛鉤に続いて地域団体商標に登録されました。市内で14戸の畜産農家が約1300頭の黒田庄和牛を飼育しており、その約70%が神戸ビーフとして出荷されています。これまで兵庫県畜産共進会において何度も名誉賞を獲得するなど高い品質が自慢です。

さらに、全国的に有名な「酒米の王者」山田錦や、金ゴマ、黒大豆などの地域食材で本市を「おもてなしのまち」にしようと、本年度に「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を制定。地元産山田錦からつくった日本酒のPRや、黒田庄和牛を使った「西脇ローストビーフ」のグルメ開発など、商業と観光の連携事業を展開しています。

このように、豊かな地域資源を有効活用して「西脇ブランド」を再構築することで、新たな地域の魅力が次々に生まれています。

## 地方創生に向けて 「西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

昭和35年ごろまでは北播磨地域の商都として繁栄してきた本市で

すが、円高の進行や新興国の台頭などが、繊維業を中心とした地域経済を直撃し、都市部への人口流出や少子高齢化も相まって現在の人口は約4万2000人にまで減ってしまいました。

そこで、地域産業が活性化し、若い世代がいいきと暮らし、活躍できるまちの実現に向けて「西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本年度に策定し、さまざまな取り組みを進めています。

最終製品が少なくブランド力強化が課題となっている播州織については、国の地方創生先行型交付金（上乗せ交付分）を活用して「西脇ファッション都市構想」を展開し、最終製品化を担うデザイナー



借りた本の情報を印刷できる「読書通帳」（県内初導入）

の誘致と育成を進めています。

また、平成27年10月には、図書館や児童館、コミュニティセンターなどの機能を併せ持った「西脇市茜が丘複合施設Mirraie（みらいえ）」がオープンしました。

従来の1.5倍の規模となった図書館では、県内で初めて導入した「読書通帳」が利用者層の拡大に貢献しているほか、屋内遊具が充実した「こどもプラザ」も子どもたちや若い世代に大人気。オープ

## プロフィール

- ◆ 面積 132.44 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万2106人
- ◆ 世帯数 1万6749世帯

〔将来都市像〕人輝き 未来広がる  
田園協奏都市

〔まちの特徴〕東経135度と北緯35度の交差点が位置し「日本のへそ」としてユニークなまちづくりを展開

〔特産品〕山田錦、黒田庄和牛、播州ラー



西脇市長  
片山象三



メン、黒大豆、金ゴマ  
〔観光〕日本へそ公園、西脇市岡之山美術館、にしわき経緯度地球科学館、西脇市日本のへそ時計の丘公園オートキャンプ場、旧来住家住宅  
〔イベント〕へその西脇・織物まつり、日本のへそ西脇子午線マラソン、西脇多可新人高校駅伝競走大会

ンから2カ月で来館者が10万人を突破するなど、子育て世代、学生、高齢の方など幅広い年代が集う交流の場として、また、新しい「西脇の顔」として市民の間に確実に定着しつつあります。

程良い都市機能と自然に恵まれた環境を生かし、子育てしやすいまちとして、また、若者たちが夢を実現できるまちを目指して、これからもさまざまな施策を積極的に推進していきます。

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

## わが

スピード感と経営感覚を研ぎ澄ました  
自治体運営で普通寺創生

## 普通寺市の概要

普通寺市は、香川県の西北部に位置する面積39・93km<sup>2</sup>、人口約3万3000人のコンパクトな市です。気候は、瀬戸内海気候に属しており、温暖寡雨で、冬期は比較的暖かく、平地での積雪はめったに見られません。

この地域の歴史は古く、有岡古



弘法大師三大霊場の一つ「普通寺」の境内

墳群をはじめとする大小400基もの古墳や数々の貴重な遺跡が残されているように、古代から文化の中心となっていました。中世には、弘法大師(空海)や智証大師(円珍)の生誕の地として信仰のまちとなり、平安時代初頭に唐から帰朝した弘法大師が建立した普通寺を中心に栄えました。明治時代に入ると陸軍第11師団が置かれ、軍隊のまちになると市街地の整備が進みました。戦後は、師団施設跡に公共機関などが立地し、教育・文化都市として新たに出発しました。そのため、現在も市街地中心部には、陸上自衛隊普通寺駐屯地、独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構四国研究センター、四国学院大学などが立地しており、

独特な市街地を構成しています。

## 地方創生のキーワードは「教育」と「子育て支援」

近年、国全体の人口が減少に転じる中で、出生率の低い東京圏への若者人口の一極集中は、地方における若者の減少を招き、とりわけ出生適齢期とされる女性の人口減少を招いています。このまま何の対策も取らなければ、地方の経済や社会の存立基盤は大きく揺らぎ、ひいては、行政機能の維持・継続が困難となり、存続が危ぶまれる自治体が発生するともいわれています。そこで、本市では主に「教育環境」と「子育て支援」の充実を最重要施策と位置付け取り組んでいます。

教育面では、市立幼稚園において茶道体験や音楽指導、文字のお

稽古指導などを取り入れて情操教育に力点を置く一方、小学校では分かる授業の実践や豊かな体験活動に加え、原則第3土曜日に4年生以上の児童を対象に土曜授業を実施しています。また、平成26年からは主に総合的な学習の時間を活用し、「ふるさとの偉人・空海」という副読本を活用した学習を開始し、地元の偉人空海の業績や生涯、思いや生き方などを詳しく学ぶことで、郷土を愛する心をはぐくんでいます。

子育て支援に関しては、病児・病後保育や休日保育、一時保育などの特別保育の実施をはじめ、絵本の配布や5歳児健康診査などに取り組む一方で、幼稚園授業料の無料化や保育所保育料の減額、中学卒業までの医療費無料化、インフルエンザ予防接種費用の一部助成といった経済的支援の充実も図っています。また、四国の基幹医療施設である「四国こどもとおとなの医療センター」が市内に立地していることから、連携を深

め、福祉と保健両面からの子育て支援を可能にしています。

このように子どもを産み育てやすい環境を整備してきた結果、市内の0歳から14歳の年少人口の増減は横ばいとなり、さらに合計特殊出生率は向上するなど、徐々にその成果が現れ始めています。

## 「ダイシモチ」で健康づくり、まちづくり

本市は、四国八十八箇所霊場のうち5カ寺が点在するほか、市内には貴重な歴史的建造物が数多く残っており、観光地としての魅力も有していることから、観光客誘致にも積極的に取り組んできました。最近では、地場産品「讃岐もち麦ダイシモチ」を使用した商品開発を進めています。「ダイシモチ」は四国農業試験場（現在の農研機構）において、平成9年に開発された大麦の一種で、水溶性食物繊維「β-グルカン」が白米の約30倍含まれていることが特徴です。香川県は人口当たりの糖尿病の有病者またはその予備群の割合が全国的に高いことから、ダイシモチを継続的に摂取すること、コレステロール対策や生活習慣病

の予防効果も期待できます。弘法大師の「大師」にちなんで名付けられたことから、本市の特産品として売り出すために、饅頭、パン、うどん、コロツケといった食品から、甘酒や焼酎といった醸造・発酵食品に至るまで、ダイシモチを使用した商品開発を幅広く進めています。今では学校給食や医療機関の食堂でも使用されるようになったほか、ふるさと納税の返礼品としても人気が沸騰中で、平成15年には0.1haの作付面積が今では20haにまで増加しています。今後はさらなる普及促進に努め、生活習慣病予防はもとより、地域振興の起爆剤として活用していきたいと考えています。

## おわりに

地方自治体の職員と民間企業の社員との一番の違いは、「スピード感」と「経営感覚」だと考えており、職員に対しては、その2つを常に求めてきました。私の愛読書には「国家の命運は公務員の質によって決まる」と記されています。言い換えれば、本市の命運は市の職員の質によるということであり、職員の意識改革が必要だとい

うことです。最近になり、職員にもようやく変化が現れ始め、いくつかの成果も上がっています。現在、市庁舎の建て替えをはじめ大きな財源を要する課題が山積しており、市を取り巻く環境は、決して楽観できるものではありませんが、職員と一丸となり、知恵を絞って、汗をかいて、この厳しい時代を乗り越えていきたいと考えています。

## プロフィール

- ◆ 面積 39・93km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 3万2842人
- ◆ 世帯数 1万4836世帯

〔将来都市像〕住んでみたい・住みづけたいまち 普通寺

〔まちの特徴〕空海の生誕地として知られ、歴史情緒溢れる街の風情と山々に抱かれた自然とが融合するまち

〔特産品〕四角スイカ、ダイシモチ麦、レタス、青ネギ、タマネギ、キャベツ、ニンニク、キウイフルーツ



普通寺市長  
平岡政典



〔観光〕旧普通寺偕行社、旧陸軍第十一師団兵器庫、乃木館（陸上自衛隊普通寺駐屯地資料館）、国指定史跡有岡古墳群

〔イベント〕総本山普通寺大会陽、普通寺フラワー&ガーデンフェスタ、普通寺まつり、万灯みたまま祭り、円珍・乃木まつり、普通寺農工商フェスタ、普通寺空海まつり、五岳山縦走「空海ウォーク」



地元の偉人「空海」を学ぶ授業風景

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。